



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月9日

上場会社名 太陽化学株式会社 上場取引所 名
 コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宏 (TEL) 059-340-0802
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部部長 (氏名) 増川 尚利 配当支払開始予定日 -
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	8,179	△6.3	450	4.5	447	△19.3	262	△22.5
22年3月期第1四半期	8,729	0.8	430	211.0	554	217.6	338	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	13	17	-	-
22年3月期第1四半期	16	51	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円		円	銭
23年3月期第1四半期	33,492	27,081	78.9	1,327	17		
22年3月期	33,914	26,989	77.8	1,321	41		

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 26,433百万円 22年3月期 26,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	-	8	00	-	8	00
23年3月期	-	-	-	-	-	-
23年3月期(予想)	-	8	00	-	8	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	17,500	△0.4	1,000	12.2	1,000	4.1	550	3.6	27	61
通期	35,000	2.5	2,000	12.0	2,000	6.0	1,100	14.7	55	23

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	23,513,701株	22年3月期	23,513,701株
23年3月期1Q	3,596,807株	22年3月期	3,549,804株
23年3月期1Q	19,941,659株	22年3月期1Q	20,524,779株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ

「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、アジア向けを中心とした輸出の増加や生産に持ち直しがみられるものの、為替や株式市場の混乱は続いており、先行き不透明な状況にあります。また、依然として雇用情勢は厳しく、個人消費は低迷した状況が続いております。

このような経済環境の中で当社グループは、引き続き、対処すべき課題として、①市場変化への対応、②販売の強化（グローバル化）、③品質管理体制の維持・強化、④環境への取り組み、⑤人材育成、⑥業務改善による全体最適化を掲げ、企業価値向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は81億79百万円（前年同四半期比6.3%減）、営業利益は4億50百万円（前年同四半期比4.5%増）、経常利益は4億47百万円（前年同四半期比19.3%減）、四半期純利益は2億62百万円（前年同四半期比22.5%減）となりました。

当第1四半期連結会計期間におけるセグメントの概況は次のとおりであります。

① ニュートリション事業

緑茶抽出物は、欧州市場のサプリメント用途は堅調に推移いたしました。国内市場のインスタント緑茶用途や米国市場の飲料用途が低調な動きとなりました。

機能性アミノ酸（テアニン）は、国内市場の飲料用途への新規採用等もあり、堅調な動きとなりました。米国市場においては、サプリメント用途が堅調に推移したものの、飲料用途は低調な動きとなりました。

水溶性食物繊維は、国内市場での特定保健用食品用途に新規採用となったことや、欧米市場においても乳製品・医療食品用途が引き続き順調に推移し、堅調な動きとなりました。

ミネラル製剤は、国内市場における乳製品用途を中心に堅調に推移いたしました。PUFA（多価不飽和脂肪酸）製剤は低調な動きとなりました。

この結果、売上高は10億89百万円、営業利益は53百万円となりました。

② インターフェイスソリューション事業

乳化剤は、化粧品・トイレタリー用乳化剤がやや低調な荷動きとなりましたが、乳化・可溶化製剤、乳化安定剤製剤及び乳化食品が何れも順調に推移し、飲料用途は大幅に伸張しました。

また、一般食品用乳化剤も堅調に推移いたしました。

安定剤は、惣菜用途が伸張したものの、デザート用及び飲料用ゲル化剤、冷菓用が伸び悩み、低調な動きとなりました。

この結果、売上高は30億34百万円、営業利益は4億29百万円となりました。

③ アグリフード事業

鶏卵加工品は、粉末卵が堅調に推移したものの、液卵加工品については一部商品の終売や、デザート市場の販売不振の影響等で低調な動きとなりました。

即席食品用素材は、やや低調な動きとなりました。

フルーツ加工品は、製パン用途は大幅に増加しましたが、アイスクリーム用途やヨーグルト用途が低調な動きとなりました。

この結果、売上高は40億31百万円、営業利益は38百万円の損失となりました。

④ その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は24百万円、営業利益は5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して4億21百万円減少して、334億92百万円となりました。主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加2億円、商品及び製品の増加2億42百万円、現金及び預金の減少6億85百万円、原材料及び貯蔵品の減少1億46百万円です。

また、負債は前連結会計年度末に比較して5億13百万円減少して64億11百万円となりました。主な負債の変動は、未払法人税等の減少4億76百万円、賞与引当金の減少1億18百万円です。

純資産は前連結会計年度末に比較して91百万円増加して270億81百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末の77.8%から78.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ6億30百万円減少し、21億35百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における営業活動により3億80百万円の資金の減少となりました。

その主な理由は、税金等調整前四半期純利益が4億37百万円、減価償却費計上による自己金融効果2億39百万円による資金の増加の他、売上債権の増加1億93百万円、賞与引当金の減少1億18百万円、法人税等の支払6億円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における投資活動により18百万円の資金の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における財務活動により2億52百万円の資金の減少となりました。

その主な理由は、短期借入れによる資金の増加が39億円、短期借入金の返済による支出が39億13百万円、配当金の支払額が1億59百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において、平成22年5月10日の決算発表時の業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用の計算

当社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これに伴う経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

② 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成22年 6 月 30 日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,143,721	2,829,199
受取手形及び売掛金	8,325,859	8,125,079
商品及び製品	3,407,874	3,165,005
仕掛品	399,323	424,001
原材料及び貯蔵品	2,294,585	2,441,429
その他	757,434	569,684
貸倒引当金	△85,962	△79,681
流動資産合計	17,242,835	17,474,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,434,834	5,498,626
土地	5,942,043	5,940,804
その他（純額）	2,470,184	2,559,494
有形固定資産合計	13,847,062	13,998,926
無形固定資産		
のれん	138,615	142,649
その他	369,994	373,148
無形固定資産合計	508,609	515,797
投資その他の資産		
投資有価証券	1,590,790	1,634,616
その他	346,893	333,845
貸倒引当金	△43,920	△43,865
投資その他の資産合計	1,893,763	1,924,596
固定資産合計	16,249,435	16,439,320
資産合計	33,492,271	33,914,038

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成22年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,745,542	3,670,099
短期借入金	454,568	457,947
未払法人税等	184,704	661,181
賞与引当金	102,152	220,939
その他	849,149	768,464
流動負債合計	5,336,118	5,778,631
固定負債		
長期借入金	54,389	55,500
退職給付引当金	528,872	521,722
役員退職慰労引当金	265,580	311,780
その他	226,072	256,524
固定負債合計	1,074,915	1,145,527
負債合計	6,411,033	6,924,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,729	7,918,729
利益剰余金	14,046,193	13,943,381
自己株式	△3,284,220	△3,246,294
株主資本合計	26,411,323	26,346,438
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	134,738	181,453
繰延ヘッジ損益	△21,100	△22,818
為替換算調整勘定	△91,856	△124,624
評価・換算差額等合計	21,781	34,010
少数株主持分	648,132	609,430
純資産合計	27,081,237	26,989,879
負債純資産合計	33,492,271	33,914,038

(2) 四半期連結損益計算書
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月 30 日)
売上高	8,729,980	8,179,855
売上原価	6,932,532	6,332,841
売上総利益	1,797,448	1,847,013
販売費及び一般管理費	1,366,738	1,396,948
営業利益	430,710	450,064
営業外収益		
受取利息	7,181	2,491
受取配当金	16,030	15,821
持分法による投資利益	3,059	6,763
為替差益	100,409	—
助成金収入	14,262	43,661
その他	27,327	20,507
営業外収益合計	168,271	89,245
営業外費用		
支払利息	27,672	15,213
為替差損	—	61,182
その他	17,301	15,646
営業外費用合計	44,974	92,042
経常利益	554,007	447,268
特別利益		
投資有価証券売却益	—	154
特別利益合計	—	154
特別損失		
固定資産除売却損	920	9,530
投資有価証券評価損	1,638	61
その他	461	—
特別損失合計	3,021	9,591
税金等調整前四半期純利益	550,986	437,831
法人税等	187,970	127,369
少数株主損益調整前四半期純利益	—	310,461
少数株主利益	24,241	47,863
四半期純利益	338,774	262,597

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月 30 日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	550,986	437,831
減価償却費	263,400	239,545
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,471	6,040
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△123,655	△118,786
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△46,200
受取利息及び受取配当金	△23,211	△18,313
支払利息	27,672	15,213
為替差損益 (△は益)	△106,537	22,012
持分法による投資損益 (△は益)	△3,059	△6,763
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△154
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,638	61
売上債権の増減額 (△は増加)	△387,019	△193,781
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△57,601	△48,827
仕入債務の増減額 (△は減少)	443,777	67,723
その他	62,939	△139,690
小計	658,800	215,910
利息及び配当金の受取額	26,287	19,450
利息の支払額	△32,580	△15,213
法人税等の支払額	△188,314	△600,365
営業活動によるキャッシュ・フロー	464,193	△380,217
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,006,032	△6,000
定期預金の払戻による収入	25,100	61,000
有形固定資産の取得による支出	△84,585	△28,673
有形固定資産の売却による収入	—	2,202
投資有価証券の取得による支出	△4,267	△10,677
投資有価証券の売却による収入	—	840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,069,785	18,691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,982,140	3,900,000
短期借入金の返済による支出	△82,140	△3,913,962
長期借入金の返済による支出	△12,806	—
自己株式の取得による支出	△147,451	△37,926
配当金の支払額	△164,937	△159,785
少数株主への配当金の支払額	△26,815	△41,275
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,547,989	△252,950
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,695	△16,120
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,972,093	△630,597
現金及び現金同等物の期首残高	1,732,056	2,765,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,704,150	2,135,201

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

当社グループの事業は、「食品関連事業」並びにこれらの付帯業務の単一事業となっております。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,117,099	166,156	446,724	8,729,980	—	8,729,980
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	105,192	436,329	—	541,521	(541,521)	—
計	8,222,291	602,486	446,724	9,271,502	(541,521)	8,729,980
営業利益	399,586	6,114	8,679	414,380	16,329	430,710

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア …………… 韓国、中国、インド

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	アジア	米州	欧州	計
I 海外売上高 (千円)	331,157	446,724	228,862	1,006,744
II 連結売上高 (千円)				8,729,980
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	3.8	5.1	2.6	11.5

(注) 1 国又は地域の区分の方法

地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア：韓国、台湾、中国等

米州：アメリカ、カナダ、ブラジル等

欧州：ドイツ、スイス、イタリア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ニュートリション事業」、「インターフェイスソリューション事業」及び「アグリフード事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ニュートリション事業」は、カテキン、テアニン等の緑茶関連品、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ビタミン、ミネラル、PUFA（多価不飽和脂肪酸）製剤等の製造並びに販売をしております。「インターフェイスソリューション事業」は、乳化剤、乳化安定剤、乳化製剤、乳化食品、増粘安定剤、化成品等の製造並びに販売をしております。「アグリフード事業」は、鶏卵加工品、蛋白素材、加工食品用改質剤、即席食品用素材、乾燥食品、フルーツ加工品、農産加工品等の食品素材の製造並びに販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュートリ ション事業	インターフェ イスソリュー ション事業	アグリフー ド事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,089,634	3,034,201	4,031,838	8,155,674	24,181	8,179,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,089,634	3,034,201	4,031,838	8,155,674	24,181	8,179,855
セグメント利益又は 損失(△)	53,307	429,890	△38,968	444,229	5,835	450,064

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。